

第65回全国茶品評会の茶摘みの様子
(5月8日・はちなか園にて)

かわねほんちょう 議会だより

第23号

平成23年8月発行

発行 / 川根本町議会
編集 / 議会だより
編集委員会

もくじ

6月定例会報告	2~3
第1常任委員長報告	4
一般質問	5~11
議会日誌・編集後記	12

6月議会報告

平成23年第2回議会定例会が6月22日～29日まで開会され、提出された10議案中、7議案を初日に可決しました。

初日に提出された議案のうち、川根本町国民健康保険税条例の一部改正は、第一常任委員会に付託して審査を行い、最終日の29日に追加2議案と合わせ、て原案通り可決しました。

条例関係

川根本町税条例の一部改正

…全員賛成で可決
3月11日に発生した東日本大震災で被災した方々の緊急対応として、地方税法の一部改正が行われたことに伴う町税条例の一部改正です

補正予算

平成23年度川根本町一般会計補正予算（第

1号）

…全員賛成で可決
補正後の総額
57億1千879万4千円
（7千379万4千円の増額）

平成23年度町川根本町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）
…全員賛成で可決
補正後の総額
3億7千250万3千円
（300万3千円の増額）

平成23年度川根本町いやしの里診療所事業特別会計補正予算（第

1号）

…全員賛成で可決
補正後の総額
4千332万6千円（102万6千円の増額）

議員提出議案

川根本町議会の議決すべき事件を定める条例について

…全員賛成で可決
地方自治法第96条第2項に基づく議決事項について定めるもので、町総合計画の基本構想及び基本計画を策定・

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦について

…全員賛成で可決
川根本町徳山 澤村泰子氏（再任）
川根本町東藤川 芹澤通江氏（新任）

その他

町道路線の認定について

…全員賛成で可決
国道362号上長尾バイパスの新中津川橋左岸側付近から役場 中学校 三ツ星保育園 大鉄田野口駅までを「町道高郷田野口停車場線」（延長2千760m・幅員2.7～10.2m）として認定しました。

平成22年度の予算繰越分について、町長から報告がありました。

・川根本町一般会計
翌年度繰越額
2億3千981万6千円
川根本町簡易水道事業特別会計
翌年度繰越額 440万円
川根本町温泉事業特別会計
翌年度繰越額 2千870万円



上長尾バイパス

最終日(29日)に可決された議案

条例関係

川根本町国民健康保険
 条例の一部改正

これは6月定例会初
 …賛成多数で可決
 日(6月22日)に提出
 され、第1常任委員会
 に審査を付託した案件
 です。

第1常任委員会は6
 月23日午前9時から行
 われました。今回の改
 正は国保税の賦課限度
 額の改正と保険税率等
 の一部を改正するもの
 で、最初に担当課の職
 員から今回の税条例改
 正について説明があり
 ました。

委員からは質問や意
 見があり、活発な議論
 が交わられました。そ
 の後、委員会での討論
 と採決を行い、賛成多

数で可決しました。

29日の本会議では、
 第1常任委員長から委
 員会審査の経過と結果
 について報告がされま
 した。

採決の結果、賛成多
 数で本条例改正案は可
 決されました。

(委員長報告は4ページ
 に記載してあります。)

補正予算

平成23年度川根本町
 一般会計補正予算(第
 2号)

…賛成多数で可決
 補正後の総額
 57億1千761万7千円
 (117万7千円の減額)



川根本町国民健康保
 険事業特別会計補正予
 算(第一号)

…賛成多数で可決

補正後の総額
 9億5千333万円
 (2千517万円の減額)

6月定例会には7名
 の議員が質問に立ちま
 した。

質問の内容や行政か
 らの答弁等は5ページ
 以降に記載してありま
 す。

一般質問



川根本町総合計画(第1次)

議 件 名	採決結果	中野 暉	太田 侑孝	山本 信之	中田 隆幸	小藪侃一郎	原田 全修	森 照信	中澤 智義	市川 昌美	鈴木多津枝	高畑 雅一	板谷 信
川根本町条例の一部改正	全												-
平成23年度川根本町一般会計補正予算(第1号)	全												-
平成23年度川根本町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	全												-
平成23年度川根本町いやしの里事業特別会計補正予算	全												-
川根本町議会の議決すべき事件を定める条例	全												-
人権擁護委員候補者の推薦	全												-
町道路線の認定	全												-
平成23年度川根本町国民健康保険条例の一部改正	多										×		-
平成23年度川根本町一般会計補正予算(第2号)	多										×		-
平成23年度川根本町国民健康保険事業特別会計補正予算	多										×		-

全:賛成全員 多:賛成多数(可決・採決) :賛成 ×:反対

板谷信議員は議長のため採決に加わっていない

第1常任委員会委員長報告

第1常任委員長 中澤 智義

本定例会で第1常任委員会に付託されました事件について、会議規則第77条の規定により報告いたします。

6月22日の本会議において、議案第20号「川根本町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について」の付託を受け、6月23日午前9時より役場・大会議室において審査を行いましたので、その審査の経過と結果について報告いたします。

「川根本町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について」の概要について、担当課職員より説明を受け審査を進めました。この改正は、国民健康保険税の賦課限度額の改正と保険税率等の一部を改正するもので

す。担当者の説明終了後、各委員から質疑が行われました。主たる内容を抜粋します。

問 保険税率の改正により、所得額の多い世帯への影響額は？

答 世帯構成や収入の状況により違いはあるが、課税所得金額が200万円の世帯では保険税率の改正による影響は年間約9千600円の増額となる。所得が低い世帯では、影響額は少なく、所得が高くなることにより影響は大きくなってしまふ。

問 保険税が最も増加する世帯の金額はどのくらいか。

答 賦課限度額を年間68万円から77万円に改正したことにより、9万円の影響がある。

問 町全体における国保世帯、被保険者の割合は？

答 国保加入世帯の割

合は48%、被保険者の加入割合は31%。約半数の世帯が国保加入世帯となっている。

問 国保加入世帯の平均所得額は？

答 一般被保険者世帯における平均課税所得額は約92万5千円。

問 年金特別徴収の対象者数は？

答 平成21年度は128人、平成22年度は170人で、年々増加傾向にある。

問 国民健康保険税の滞納状況はどのようになっているか？

答 被保険者全体の滞納額は、22年度では3千693万9千円となっている。そのうち一般被保険者については、医療分2千830万3千円、後期高齢者支援金分301万8千円、介護保険分495万3千円となっている。

問 滞納世帯は、何世帯ぐらいあるか？

答 22年度における滞

納世帯数は107世帯となっている。21年度は111世帯。20年度は108世帯となっている。

問 短期被保険者証と資格証明書の交付世帯数は？

答 資格証明書は3世帯、短期被保険者証は28世帯。短期被保険者証は、現在更新時期となっており、対象世帯の状況などを直接聞き、納付相談を行いながら、短期被保険者証の更新を行っている。

意見 国民健康保険運営の広域化を見据え、今後被保険者の減少や高齢化が予測される中で、基金の繰り入れや保有残高について、しっかりと議論してもらいたい。過去の状況や今後の見通しを立てた中で、負担の公平化を図っていくかなければならない。その中で基金の取扱い

方や、単年度における収支の赤字をどのように整理していくか、実際の医療費に対してどの程度の負担を被保険者にお願いくかという部分も、今後しっかりと検討してほしい。3千600万円を超える滞納保険税については、被保険者の負担の公平性を保つためにも、しっかりと取り組んでもらいたい。

審査の結果 討論を行い、採決を起立によって行いました。採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決となりました。





中田 隆幸 議員

問

東日本大震災復興に向けて
今後町としての支援策は
今後の観光策として、町外者グラウンド
ゴルフ大会を考えてみたら

質問 静岡市では地元木材を使う展示場を開き木材市場の拡大を図っています。我が町の町長はトップセールスで資材等売り込む考

えはあるのかお伺いしたい。

町長 木材をアピールするにはいいチャンスと考えております。大井川産材の集積は多くなっております。何とか森林組合おおいがわを中心に振興を図っていきかなければならぬ

町長 3月15日には農林水産省では、災害復旧木材確保対策北海道連絡協議会を立ち上げております。町では出来ませんので、県に働きかけて復興に向

質問 震災後全国的に観光客が減少しております。その様な中で町ではいち早く今定例会で議決した、クーポン券での誘客が成功して頂ければ観光業界にとりましてもありがたい事と思っております。そこで、中部電力(株)様が提案し商工会、観光協会が今年度より、新たなグラウンドゴルフ大会を計画してはいますがそれをを行ううえで町当局も加わり四者の話し合い、会場の貸出し等が出来るかお伺いしたい。

町長 新しい観光事業の確立についてと云うことですが、昨年中



森林組合木材加工施設

町長 90数パーセントが山林、そういう地域です。この様な折には県とも相談しその様な取り組みに参画できる様に進め、また県とも連携をとりながら進めていきたいと思っております。

町長 新しい観光事業の確立についてと云うことですが、昨年中

町長 90数パーセントが山林、そういう地域です。この様な折には県とも相談しその様な取り組みに参画できる様に進め、また県とも連携をとりながら進めていきたいと思っております。

町長 新しい観光事業の確立についてと云うことですが、昨年中

町長 新しい観光事業の確立についてと云うことですが、昨年中

町長 新しい観光事業の確立についてと云うことですが、昨年中

町長 新しい観光事業の確立についてと云うことですが、昨年中

町長 新しい観光事業の確立についてと云うことですが、昨年中

町長 新しい観光事業の確立についてと云うことですが、昨年中

町長 新しい観光事業の確立についてと云うことですが、昨年中

答

大井川産木材の活用を
県当局に働きかけていく
新しい観光事業として、
四者で話し合い取り組んで行きたい



生涯スポーツ広場



鈴木多津枝 議員

高郷の給食センター跡地に手作り売店を ダム決壊時の洪水想定国・中電へ要望を 浜岡原発廃炉・環境に優しい政策転換を 介護保険料も一般会計繰入を

問

町長 両方で利用者は男18人、女6人の計24人。全員利用料負担は無いが、事業収入は約260万円で工賃は少ない。職員は各4人で陶芸・木工品販売、資源回収、町・民間からの下請け事業等、懸命に頑張っている。工賃が増えるよう支援する。専門職員が必要。火



島田市金谷就労支援施設で新作パン完成！
(3/2付静岡新聞より)

質問 障がい者の就労支援について
2カ所の作業所の運営状況は？ 高郷の元給食センター跡地にパンやクッキー、手づくり工芸品、花の苗やきのこ栽培・販売を。

町長 国も中電も「安全」との認識から洪水想定はしていない。原発の安全神話が壊れ、絶対安全とは言えない。必要な情報提供を求め、洪水による人的被害のない町を目指す。正確な放射能測定器は高額なので、携行型測定器を購入・測定して、

も使っし収益も不安。良く話し合いたい。
質問 安心・安全、災害に強い町づくりを。
ダム決壊の洪水想定は？ 放射能を測定し、親の不安解消を。オール電化の学校給食センターや、空調を設置する小・中学校へ太陽光発電を。地区集会所の備蓄の充実、充電機能を持つ太陽光発電の設置を。震源域真上の危険な浜岡原発は再開を許さず、環境に優しい再生可能エネルギーへ政策の転換を求めると考えは？

町長 国も中電も「安全」との認識から洪水想定はしていない。原発の安全神話が壊れ、絶対安全とは言えない。必要な情報提供を求め、洪水による人的被害のない町を目指す。正確な放射能測定器は高額なので、携行型測定器を購入・測定して、

今後の参考としたい。
小学校は築30年経過し重いものは乗せられないし、緊急時のヘリポートに指定されている。環境教育を進める中で検討したい。大規模災害では救助に数日かかる。集会所の備蓄は重要で、太陽光発電も、蓄電池併設を条件に3分の2補助する。浜岡原発停止は、国民の安全第一から英断で、再稼働は国の責任で判断されると考える。



本庁舎附属棟の屋上の太陽光発電

町長 町民が安心して生活できる計画となるよう、地域包括支援センターを中心に介護予防事業を充実し、保険料も7月に委員を任命して検討したい。公営住宅の長寿化計画のアンケートで意見を聞き検討したい。今年度で処分制限期間が終わるので、早速検討

質問 介護保険料見直しの年だが、国保税同様、負担は限界。一般会計から繰入で値上げ回避を。老朽化で危険な中津川・野志本団地を、若者世代と交流できる地域ケア体制を備えたモデル団地に整備を。数年来、目的外使用が続いている徳山診療所を、高齢者の生きがい・日中見守り、子供との交流に活用したいボランティアの要望に応え、地元

安全・収益など不安、良く話し合って検討したい 情報求め、洪水による人的被害のない町をめざす 安全・安心な再生可能エネルギー安定供給願う 介護予防事業を充実し保険料は委員会で検討

答

委員会を立ち上げ、医療や福祉だけでなく、川根本町全体を見据えて有効活用を検討したい。



太田 侑孝 議員

問

教育長の長期不在は異常事態！
何故なのか？町民への説明責任がある
地域自治振興交付金事業の状況は
ブロードバンド・住民説明後の状況は

質問 教育長の長期不在は2年5カ月、佐藤町政でも1年8カ月に及び非常事態です。理由は。

町長 就任後最初の議会に教育長人事案を上程したが否決されました。

理由の中に教育行政経験が無いとの意見もあり、ある程度の期間経験させた上でと考えましたが、同意を頂ける状況にならないまま今日に至っています。

質問 教育委員2名の欠員解消の見通しは。

町長 早急に解消しなければならず、当然教育長人事とも関わる課題です。提案は町長ですが議会の同意なくしては解消しないので、議会の皆様とも、今議会が終わったら早速相談したいと考えています。

質問 3月の予算委員会や5月の全協で、この6月議会での人事案

件上程を表明されたのに、先程の『今議会』が終わったら早速解消に向けて相談をとは何故か。

町長 6月には何とかしたく反応を伺いながら正副議長にも相談しましたが、現状は難しかった。皆様の御理解と御協力を頂ける中でつくり上げていかないと、さらに今後大きな問題が出てくるのではないかとこの事で6月上程に至りませんでした。

質問 もう1年8カ月も経つので、この間の事は終わった事として町長自身が思い切つて従来ものから脱却して、新しい視点で人材を選んでいくように切り変えて頂きたいが。

町長 今回迄は正直言つてこだわってきた訳です。ところが、これで出来ないという事は町の教育行政にとって

マイナスということではありませんので。

新たな、皆様方の御意見もおかりし、皆様方に歓迎され、納得頂ける人事をしていくことが大事と思います。教育行政の課題に対応していくために、ぜひとも御理解頂き、いろいろの意味での御意見を聞かせて頂ければありがたいと思います。

質問 地域自治振興交付金事業の状況は。

町長 22年度は6自治会392万6千円、23年度は6月現在で12自治会511万8千円です。

質問 内容は、集会所の備品購入の申請が多く出されていますが、今後は空調設備や床の張り替え、芝刈機の他共同墓地の整備、障害木の伐採、防犯灯のLED化等々、区の活性化や環境づくりの気持ちが続所に表れております。

ついて伺います。

町長 住民説明会以降の対応として検討委員会を設置して13名の委員により7回開催されました。

整備方法はFTTHに限らず、有線・無線・併用等を提示し、利用は4月より庁舎内に職員による検討委員会を設置して進めています。9月上旬迄には詳細設計に入り事業計画を策定したい考えです。住民意向調査は、ある程度具体的な例を提示できる状況が固まった時点で数字的な事も示しながら調査したいと考えています。



答

正直言ってこだわってきた点もあった
新たな、皆様方の御意見もおかりしての人事案を
自治会の活性化や環境づくりの気持ちが見えます
9月上旬迄に詳細設計し計画策定を行いたい



中野 暉 議員

農業振興について
基幹産業の補完役割は
観光事業は地域活性化に

問

質問 低迷する農業、今後の取組についてビジョンを伺う。

町長 基幹産業を中心とした農業振興を図り、生産から販売まで関係機関と連携し、耕作放棄地対策、お茶以外の農産物対策として引続き特産物振興事業補助支援を行っていききたい。

質問 福島原発問題は、茶業界にも多大な波紋・風評被害があった。川根茶の安全・安心のツールとなる暫定規制値・セシウム検査の助成が出来ないか。

町長 放射性物質の検査については、既に近隣の自治体も支援する動きが出ています。当町でも考えていかなければと思っています。

質問 販路拡大として発足した市場開発推進事業、継続事業として今後の計画について伺う。

副町長 市場開発プロジェクト、今年度も八月後半ごろから具体的な活動が出来るよう、事務的準備を進めていきます。

質問 茶品評会、毎年上位成績を上げて頂き川根茶のブランドイメージを確立してきた。来年度は地元開催で特段の支援をお願いしたい。併せて、手揉茶品評会も来年度は、二十周年記念大会で『川根揉切流』の伝承も含め、多数の出品に向け対策及びご支援を頂けないか。

町長 手揉みは、伝統文化として、将来に継承していく事は大変重要だ、何らかの応援を検討したいと思っています。

質問 農業振興を計画的に推進するには、農業支援員の設置も重要で、この点について伺う。

産業課長 昨年から農業振興を図る目的で、地域農業支援員を配置し農業における諸問題に対応してきました。

質問 農業全般に対し、長期的に計画を図れる方を支援員として配置出来ないか。

町長 生産から流通面も含めて、農業の持っている多面的な機能・景観保全とか、他の農産物の導入も含め農業全体を考えられる方が必要であれば考慮する。

質問 基幹産業の補完役割として農産物の取組。地産地消・身土不二、色々な形で生産して頂き、地元消費から観光客対策は活性化に繋がる。この事にも支援員は重要となるう。

更に販売所等も必要があれば考えていただきたい。

町長 商工会でも軽トラ市が企画されている。島田から静岡、地域連携の中で、街道づくりを計画している、英知を結集すれば素晴らしい展開になると思う。

質問 観光事業は幅広く町の地域活性化に関係する。今後の対策を伺う。

町長 町内宿泊に対し買利物券の進呈、誘客対策を計画しました。富士山静岡空港を活用した観光の受け入れ、観光ルートの開発、接岨湖や大井川など様々な観光資源を活用したプログラム開発と環境づくりが重要と認識している。

質問 カヌーの町として取組む計画はできないか伺う。

商工観光課長 8月から毎月1回カヌークルージング、その他エコツーリズム自然体験プログラムを計画し毎週何かを行って観光客を増やす事を考えている。

質問 寸又峡温泉の再興にかけて特段の配慮

答

生産から販売まで積極的な取組
お茶は地域伝統文化
農産物の地産地消
様々な観光資源活用

が出来ないか伺う。

町長 数百人の宿泊規模を持つ寸又峡温泉の再興を図る、露天風呂と街並み景観を変える構想。4カ所の温泉、及び川根温泉とも連携し、もう一度活性化するように支援して行きたい。



市川 昌美 議員

生活に不可欠な防災無線の戸別受信機は 音戯の郷の職員の身分保障は 高速通信基盤の整備、今どう考える

問

質問 東日本大震災、すさまじい津波被害、福島第1原発事故の終息も見えない中、東南海地震発生確立が高いという理由で浜岡原発の発電が停止されました。

想定外の災害が予測される中で、防災及び町民の生活に欠くことが出来ない防災同報無線の未整備地区への戸別受信機の取付工事の整備状況はどうなっていますか。

町長 屋外スピーカーは全地区設置済みですが、設置場所から離れると声が小さくなること、家屋の気密性が増したことにより、屋外スピーカーの音が聞き取りにくく、戸別受信機の整備を進めております。

本川根地区では平成12年度から2年をかけて、総額1億4千836万5千円で、親局1カ所、

簡易中継局1カ所、子局（スピーカー）19カ所、地区遠隔制御装置を入れて個別受信機1千256台設置済みです。

中川根地区の戸別受信機設置台数は601台、単純計算で31%の整備率となります。

質問 地震、台風、食中毒情報、大鉄の電車バス、熱中症からおそ霜予報、イベントを含めてあらゆる情報をこの戸別受信機で助けられています。平成20年度から個別受信機の設置予算はおしなべて約117万円、諸経費を引いたら10機分しかありません。100年たつても整備出来ません。

町長 これからデジタル化して行くという状況の中で考えております。対策本部をつくるため、役場職員、防災関係者を優先して整備しております。

質問 2点目、音戯の

郷の当時委託職員だった方々の地位保全についてお尋ねして1年になります。その後の対応はどうしましたか。

町長 時給単価につきましては、ごみ収集業務、介護認定員、図書管理業務、やまびこ資料館、学校支援員等と比較検討した結果、今年度は時給単価を据え置きとしております。

質問 情報通信整備事業へのこの1年半の流れを見て、この現況の中で、首長としての判断を明確にお答えください。

町長 ブロードバンド基盤を整備することがデジタルデバイドの解消に有効な手段であると考えております。昨年度開催された検討委員会においても委員全員の方がその認識を共有されたように、私もその必要性を強く感じております。

質問 平成22年の定例会での小藪議員の質問に「今進めているものもいいと伺っておりますが、必ずしも皆様の御意見がそうでなければ、皆様の反対を押し切つてまで進めるものではない。」と答弁されています。貴方が言う詳細設計が終わった時点でアンケートを行うとしていますが、管理運営費のシミュレーションも正確なインターネットの加入台数、端末受信機の加入数が出る訳がありません。本末転倒の観があります。



同報無線戸別受信機

今整備中。毎年予算計上している
関連する他の職場との対比を検討
具体的な事業計画を町民の皆様に提示したい

答

町長 早急に整備概要を議員の皆様を示した上で、なるべく早い時期に具体的な事業計画を町民の皆様にも提示したいと考えています。



小藪侃一郎 議員

原発事故風評被害と川根茶について 川根茶の安全・安心キャンペーンについて 町独自の光ファイバー敷設は必要か？

F 島田・学校等と保護者間の携帯メール

問

質問 茶品評会関係者の御苦勞に敬意を表します。風評被害と川根茶について所見を伺う。

町長 お茶の安全性の問い合わせも多く、個々に説明し理解して頂く対応をしておりますが、状況を把握していく考えです。

質問 製茶工場の経営安定が重要で、製茶工場の減少は大変です。現状課題の調査を。

産業課長 自園自製農家は106軒あり状況の把握を引き続き継続調査等をしていきたい。

質問 町内の広告塔を使うなど、川根茶の安全・安心のキャンペーンについて。

副町長 市場開発は9月上旬に活動に入りたい。それとは別になるべく早く広報していきたい。

産業課長 販売促進の支援は行事等で品質の高さと安全性を積極的にPRしていきたい。

質問 東日本震災後の



町経済と町民生活の影響を伺う。

町長 観光は前年比2、3割減。商店は自粛ムードで同様な減で、建設は景気後退と震災で心理的冷え込みの影響がみえる。自動車関連は3、4割の減と、震災や円高は今後、長期的な影響を与える。

質問 自動車関連企業の土・日勤務体制と日曜保育の対応を。

福祉課長 三ツ星保育園と聖母保育園で7、9月に実施予定です。

質問 地場企業は青部バイパスの早期完成が企業生命にとって一番の望みで、町民も同じ思いである。国や県に働きかけを願う。

建設課長 藤沢橋完成後に県道との連絡道路トンネル工事、青部駅周辺道路本体工事等大

きな事業費が予想されるが、早期完成に向けて関係機関に要望活動をしている。

質問 NTT静岡・浜松支店、ドコモ、ソフトバンク本店等10数回の検討勉強会を議員有志で進めてきたが、16億円の町独自の全戸配線光ファイバーは本当に必要か疑問だ。

町長 プロードバンド基盤整備については検討委員会においても、必要性が認識された。担当課において有線方式である全戸配線にこだわらず、無線との併用なども含めて検討している。なるべく早い時期に具体的な計画を町民にも提示したい。

質問 町独自の光ファイバー敷設は結果的に二重投資になる。不要不急なものを拙速にやらないで、熟慮してやってほしい。

町長 確かにワイヤレスプロードバンドは日進月歩の状況にある、

しつかり判断したい。

質問 本町はすでに、高速プロードバンドの地域です。我々の情報ではNTTは10年以内今の銅線を光回線に替えなければならぬ必然性があるということです。NTTは大井川鐵道線路施設での光回線はIRU（長期保守運営）契約ができません。今後毎年維持管理・機器更新に多額の費用がかかる。考え直してはどうか。

町長 一方でそういう方向へ行く可能性はあるが、まだまだかかるのではないかという意見もあり、そのような中で判断したいと思う。維持・加入の問題もあり最終的にこの地域に合った整備をしていく事が大事だと思う。

質問 町内通信格差解消・災害対策に衛星プロードの導入を要望

町長 緊急的な措置で恒久的な解消策でない。

質問 災害協定をして

いるFM島田の受信ができるように。

総務課長 町でも整備を検討・研究したい。

質問 保育園・幼稚園・学校等と保護者間の連絡に携帯メール利用の連絡網について。

教育総務課長 本川根小学校でやっている。検討していきたい。

消費・流通・生産は混乱した。状況を把握する
品質の高さや安全性を積極的にPRしていく
なるべく早く具体的な計画を町民に提示する
F 島田受信・携帯メール連絡網を検討する

答



原田 全修 議員

問

ブロードバンド基盤整備事業について
町民の意向はいつどのように確認するのか
町の原案では設備更新費用を
どのように試算しているか

質問 昨年10月に町が出した当町のADSLの速度の調査データからは、3Mbps以上の高速エリアは92%に達しており町内の情報格差の是正として、8%のエリアのユーザーへの対策をどうするのかというのが当町のブロードバンド基盤整備に関する当面の課題として捉えるべきと考える。先ず観光地である寸又峡へは衛星ブロードバンドやワイヤレス（携帯電話）ブロードバンドでの対応を急ぐべきではないか。

副町長 衛星ブロードバンドは補完衛星を持たないため将来的には非常に危険性があると思っている。超高速のワイヤレスブロードバンドが近い将来普及するということは難しいかと思われる。

質問 町長は事業費は最大16億円だと言われているが根拠は何か。先般政府のICT政策検討チームの藤原洋氏（株式会社インターネット総研社長）のご紹介により、幕張メッセで開催された「インターロップ2011東京」という最新のブロードバンド技術の展示及びレセプションに小藪議員と出席した。会場からはNTTは10年以内に全国を光ファイバー化せざるを得ない状況になっているというNTT技術部門からの情報も得ている。町の原案であるFTTHはNTTの次世代ネットワーク（NGN）には繋がらないため将来ともテレビ電話は町内でしか使えない。NGNへ連携できるようにするにはさらに何億円という設備が必要になるだろう。今の原案だけでも設備更新をするための費用が平均年間1億円

ぐらい掛かるだろうというのが私の試算である。町としてはどのように試算しているか。

副町長 維持経費の問題については、詳細設計の中の一部を調査費等に振り分け具体的な数字も示していきたい。

質問 ブロードバンド基盤は必要な社会資本だというのが、設備維持の経費は地方交付税なり、国・県からの補助が受けられるのか。

副町長 維持運営経費についての補助は無い。



ソフトバンクのワイヤレス(携帯電話)ブロードバンド基地局(谷畑地区)

質問 当事業については、7月中旬に3通りほどの案を提示して、議会での「意見交換会」を行い「報告会」を行い方向性を出し、9月に詳細設計に入りたいという企画課長からの提案があつたが、町民の意向調査と絡めてどのように進めようとしているのか。

副町長 詳細設計に入るに当たっては、町民の加入動向とか希望などの把握が行える意向調査をしていきたい。

質問 「意見交換会」などという唐突な提案は受け入れられない。もっとオープンに幾通りもの提示をし、丁寧にアンケートなり意向調査をすべきではないか。

町長 恐らく丁寧な説明をしない限り町民の納得もしてもらえないと思う。そういう意味で3通りか幾通りになるのか分からないが、FTTH方式、衛星や携帯電話のブロードバンド方式、設備後の減

答

詳細設計に入る前に意向調査をする。幾通りもの整備方式を示し丁寧な説明をしていく
まず原田議員が試算した資料をもとに
設備更新費用を試算して見たい

価償却に当たる経費等を含めて、トータルでどういう整備方式が一番いいのかそれを判断するための材料をできるだけ早く出していきたい。

議 会 日 誌

4月

- 3日 平成23年度川根本町消防団入退団式
- 6日・7日 町内小中学校入学式
- 17日 川根本町茶業者大会・献茶式
- 23日 千年の学校第10期開校式



献茶式



全国茶品評会茶園

5月

- 2日 ~ 全国茶品評会出品園の激励
- 24日 静岡県町村議会総会
- 26日 第17回まちづくり基本条例策定委員会
- 31日 川根本町シルバー人材センター総会

6月

- 10日 富士山静岡空港利用促進協議会総会
- 16日 国保運営協議会
- 19日 とうきょう川根の会総会
- 22日 ~ 29日 6月議会定例会



とうきょう川根の会総会

9月の議会日程

初 日：9月 6日(火) 両日とも午前9時開会です。
 最 終 日：9月21日(水) 最終日には一般質問が行われます。
 議会本会議はどなたでも傍聴できます。ぜひ傍聴にお越しください。

編集後記

第23号議会だよりの表紙の茶摘み風景は、第65回全国茶品評会に出品する農事組合法人中川根はちなか園での約70名の皆様によるものです。今年の全品には、煎茶の部9出品者・釜炒りの部2出品者の計11点が出品されます。

足柄茶の一部から暫定規制値を超える放射性物質検出の発表以前に、当町の全品出品茶の摘採と製茶はほとんど終わっていました。この出品茶はJAの放射能検査を受けた後に川根茶の安全性を証明して出品されます。

出品茶には川根茶の代表として味や香りは勿論のこと、川根茶全体の安全性を証明し信頼を高める意味と期待が込められています。審査点数に安全・安心点数を上乗せしての上位入賞と安全産地賞の受賞を期待しています。

編集委員

(第二常任委員会)

- 委員長 中田 隆幸
- 副委員長 小籾 侃一郎
- 委員 高畑 雅一
- 委員 原田 全修
- 委員 太田 侑孝
- 委員 中野 暉

(Y・O)